なぜ、不登校・高校中退・ひきこもりの子どもたちが学校に行けるようになったのか？

子どもたち、保護者の「生の声」を聞いてみませんか？

不登校、高校中退生、ひきこもり、保護者・支援者のための

教育講演・相談会

2月12日(月)

霊南坂教会
東京都港区赤坂１丁目１４−３

主催：北星学園余市高等学校　　後援：余市町　余市町教育委員会

13:30〜14:45　トークタイム

本校の概要を紹介。その後、卒業生やPTAに当時を振り返ったり、また、それらを経た今の生活を語ってもらいます。
それらの声を聞きながら、育ち、成長、集団で生活することについて考えます。

【パネラー】教諭2名、卒業生2〜3名、PTA1〜2名

15:00〜17:00　個別面談

ご希望の方に、教員による個別面談を設けています。待ち時間は、PTA、卒業生が体験をもとにお話をお聞きします。

※ 参加費無料、事前申込不要、入退場自由です。

様々な立場・経験者が待っています。

子育ての悩み。なかなか周りに相談できないことだと思います。本校は1984年以来、不登校・高校中退経験者を受け入れてきました。
「教育を独りで営むことは難しい」という認識のもと、親・教師・寮管理人、たくさんの人のかかわりの中で教育活動が営まれています。この相談会も、教師だけでなく、PTA、卒業生も集います。きっと、同じような経験をした仲間がいます。

糸口が少しでも見つかることを願って。

子どもの未来を模索するためのひとつの機会にしてほしいと思います。本校に入学するかどうかで、この相談会への参加を考えるより「何か見つかるものがあるかもしれない」という気持ちで参加していただけたら幸いです。
様々な立場・経験者の話は少しでもお役に立てるのではないかと思います。

個別相談を待っている間、ＰＴＡが同じ親としての立場でお話しを聞いてくれます。

全体会の様子です。本校教員が学校生活の様子を話します。

こんな子どもたち、その子どもに寄り添った親御さんの経験談を通じて、見えてくるものをお持ち帰りください。

小学校から不登校。もともと人間関係も得意ではなかった。無理に学校に通わそうとしてしまい親子関係もうまくいかなくなってしまった。子どもは部屋に引きこもるように。

学校に行かない自分、勉強に遅れていく自分。後ろめたさを感じ、ダメな自分を攻める。どこかで自分を変えたいという気持ちを捨てきれずにいるが、抜け出し方もわからなければ、もう失敗をしたくもない。

中学後半から別人の様に豹変。友人関係も言葉遣いも、生活態度も１８０度変わった。髪を金髪に染め、眉毛は全部剃り、夜遊びに。家の壁は穴だらけ。まるで家の中に他人が上がり込んだよう。

全日制普通科高校
北星学園余市高等学校
〒046-0003　北海道余市郡余市町黒川町19丁目2-1

〈お問い合せ〉 教育相談会担当：田中まで
TEL. 0135-23-2165
E-mail tanaka@hokusei-y-h.ed.jp

学校の情報は
「北星余市」で検索！
北星余市　検索